

# 城北まちづくり通信

2021 / 8 / 2  
19号  
城北まちづくり協議会  
事務局：城北地区公民館

きつねがわ すいしつ じょうか たいさく けんとうかい

## 「狐川水質浄化対策検討会」からのお知らせ（報告）

先日（7月26日）、「狐川水質浄化対策検討会」が、流域内の関係行政機関（国・県・市）、学識経験者、地元住民等が出席して開催されました。

みなさんもお存じのように、狐川は低地帯にあって勾配が緩く、袋川の水位の影響を受け流れが悪く（バックウォーター）、汚濁や悪臭の原因となるヘドロが溜まりやすいことが、以前から課題になっていました。

平成27年度に狐川の水質に影響を与える主な要因を抽出し、以降、水質改善のためのシミュレーションや実証実験を続けてきました。

水質に影響を与える主な要因は、次のとおり報告がありました。

- ① 下水処理場からの放流水の逆流
- ② 下水道を接続していない世帯からの生活雑排水の流入
- ③ 上流からの流入が少なく滞留環境にあることに起因したヘドロからの汚濁負荷の溶出



また、抜本的な対策として狐川の流量を増やすことにねらいを定めて、取り組むとしています。



そこで、県は山白川と狐川との分岐点に、「分水施設」を設置して狐川の流量を増やそうとしています。

一般的に、ヘドロは有機物を多く含んでおり、有機物は微生物などによって酸素を消費しながら徐々に分解されます。

微生物による有機物の分解は、水温が高いほど活発に活動し、川底付近でたくさんの酸素が消費されます。

このため、水温が上昇する夏には、上層（水面）からの酸素の供給が追いつかず、水中の酸素がなくなって「貧酸素化」が起こり、生物や微生物が死滅し、悪臭を放つ“**有機物の多い泥（ヘドロ）**”となると言われています。

流量を増やすことは川の中の滞留環境を改善する有効な手段であると考えられています。

裏面につづく



## ■ 城北まちづくり協議会からのお知らせ

### 「ステージ活用説明会」(8月3日)“延期”のお知らせ



全国的に、コロナウイルス感染症が急速に拡大しています。城北まちづくり協議会としましても、日々、感染状況の動向を注意深く確認しつつ事業展開してきています。

7月30日、鳥取県に『**新型コロナ嚴重警戒宣言**』が出されたことを受けて、8月3日(火)10時から開催予定でした「ステージ活用説明会」を“**延期**”します。

身近にある商栄町のライブハウス(他店舗)でも、クラスターが発生し「ステージⅢ」に到達する危機的な状況になりつつあります。

ウイルス量の多いデルタ株による陽性事例も複数確認され、**家庭内での感染**も多くみられるとのことでした。

また、**2回のワクチン接種を完了した人の感染**(ブレイクスルー感染)事例も報告されています。ご自身、大切な人、地域を守るため、感染予防の格段のレベルアップをお願いします。尚、「ステージ活用説明会」は後日、計画させていただきます。

## ■ 青少年育成城北地区連絡協議会からのお知らせ

### 「みんなでラジオ体操！！」(7月25日)

青少年育成城北地区連絡協議会は、次代を担う青少年が、夢と希望を持って自立と自己実現を図る環境づくりを目的に活動しています。



先日(7月25日)例年行っている「みんなでラジオ体操」を、コロナウイルス感染症対策をとった上で実施しました。

JJS(城北ジュニアサポーター)の司会・進行で「ラジオ体操」をした後、本年度は『コロナに負けるな健康体操!』と銘打って、フィットネスジャンглの谷口尚子さんの指導のもとで、健康体操に取り組み快い汗を流しました。

その後、地域貢献活動として城北小学校体育館周辺の除草活動にも取り組みました。



また、本年度から効率的なパトロール活動を行うことを目的に、交通安全巡視用の「青パト」を活用して協議会のメンバーが中心となって週2回(月・金)18:00頃、注意喚起放送をしながら地域を巡回しています。

小・中学校の夏休み期間に、子どもたちが安全に、そして健全に日々を過ごせますようご協力をお願いします。